

平成24年第2回定例会（12月議会）

予算特別委員会農林水産分科会  
付託議案関係資料

平成24年12月5日

農 林 水 産 部

# 目 次

## ○ 1 2 月補正予算関係

- 1 (拡) 秋田牛全国チャンピオン獲得事業 [畜産振興課] ----- 1
- 2 (新) 大規模肉用牛肥育団地整備事業 [畜産振興課] ----- 3
- 3 (拡) 戦略作物生産拡大緊急基盤整備事業 [農地整備課] ----- 5

## ○ その他

- 4 農林水産部所管の公の施設の指定管理者の指定について [農林政策課] ----- 6

# 1 秋田牛全国チャンピオン獲得事業（拡充）

## 【農林漁業振興臨時対策基金事業】

畜産振興課

長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会において、県有種雄牛「義平福」号を父とする肥育牛が全国第2位になったことを契機に、牛肉を始めとする高品質な県産畜産物の認知度を高めるとともに、生産現場での「義平福」号の利用拡大を図る。

### 1 事業内容

- |                          |   |        |
|--------------------------|---|--------|
| (1) チャンピオン作出奨励事業         | } | 当初予算分  |
| (2) 市場取引価格アップ対策事業        |   |        |
| (3) 県有種雄牛啓蒙普及事業          |   |        |
| (4) 「秋田牛」ブランド確立推進事業      |   |        |
| (5) 「あきたの畜産」まるごと応援事業（新規） |   | 12月補正分 |

ア 牛肉や全国的なブランドである比内地鶏、豚肉など県産畜産物の魅力を広く県民にPRするとともに、消費の拡大を図るため、「あきたの畜産」まるごとフェスティバルを開催する。

- ・開催内容：試食・直売会、畜種別PRパネル展示、子供向けプレゼント等
- ・主催：畜産関係団体、県
- ・開催場所：秋田拠点センターアルヴェ
- ・開催時期：平成25年3月

イ 「義平福」号の能力を広くアピールし、利用拡大を図るため、繁殖農家や肥育農家等を対象にしたシンポジウムを開催するとともに、啓発資材を作成・配布する。

- ① 「義平福」利用拡大シンポジウムの開催
  - ・開催内容：基調講演、事例報告、意見交換等
  - ・主催：畜産関係団体、県
  - ・開催場所：秋田市
  - ・開催時期：平成25年1月
  - ・参集範囲：繁殖農家、肥育農家、人工授精師、JA等
- ② 啓発資材の作成・配布
  - ・「義平福」繁殖カレンダー（1,500部）、「義平福」ポスター（1,000部）

### 2 事業主体

- (1) : 県、全国和牛登録協会秋田県支部
- (2)、(3) : 県
- (4) : 県、秋田県産牛ブランド確立推進協議会
- (5) : 県（畜産関係団体との共催）

3 予算額

3, 500千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金）

需用費	410千円
委託料	2,109千円
使用料及び賃借料	443千円
その他	538千円

4 事業年度

平成21～24年度

## 2 大規模肉用牛肥育団地整備事業（新規） 【農林漁業振興臨時対策基金事業】

畜産振興課

本県肉用牛の生産基盤の強化や県産牛のブランド化を推進するとともに、観光や食産業の振興による地域活性化を図るため、企業と地元 J A ・農家が新たに設立する畜産法人が行う大規模な肉用牛肥育団地の整備等に対して支援する。

### 1 事業内容

#### (1) 施設整備等支援事業

初期投資額が大きく、販売開始までに複数年を要する肥育経営の負担軽減を図るため、畜舎の整備等に対して助成する。

ア 事業内容 敷地造成（2.2ha）、牛舎等実施設計

イ 実施場所 仙北市角館地内

ウ 補助率 県1/2

### 2 事業主体

株式会社 秋田仙北夢牧場

### 3 予算額

6,800千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金）

（負担金補助及び交付金 6,800千円）

### 4 事業年度

平成24～26年度

#### < 事業全体計画 >

年度	主な事業内容	事業費
H24	・敷地造成 ・牛舎等実施設計	13,600千円
H25	・施設整備等（200頭規模肥育牛舎3棟、 堆肥舎1棟、機械設備一式等）	305,000千円
	・素牛導入（黒毛和種180頭）	72,000千円
H26	・素牛導入（黒毛和種220頭）	88,000千円
合 計		478,600千円

# 大規模肉用牛肥育団地整備事業（新規） ～ 畜産（肉用牛）を核とした地域活性化方策 ～

## 1 本県畜産の現状と課題 ○ 農業産出額の状況

(単位:百万円)

年	米	畜産	野菜	その他	合計
H20	109,200	30,200	27,800	17,700	184,900
H22	78,500	30,500	24,900	15,500	149,400

  

年	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他	合計
H20	3,400	5,200	15,000	6,300	300	30,200
H22	3,300	4,200	15,600	7,200	200	30,500

※ 畜産は米に次ぐ本県の基幹作物  
 ※ 養豚が畜産産出額の50%を占め、順調に増加

## ○ 養豚の生産規模 (単位:頭/戸)

	H20	H24	全国順位	H24/20(%)
秋田県	1,649	2,363	5	143.3
全国	1,348	1,667	-	123.7

※ 全国平均を大きく上回る生産規模  
 ※ 法人化が進み安定した経営体質

## ○ 肉用牛の生産規模(肥育牛)(単位:頭/戸)

	H20	H24	全国順位	H24/20(%)
秋田県	36	39	44	108.7
全国	111	119	-	106.9

※ 既存の施策により規模が拡大しているが、いまだ小規模零細な経営が多い  
 ※ 法人化事例は少なく、高齢化や後継者不足などの課題がある

## 2 新たな肉用牛振興策の考え方

- 肉用牛振興の意味合い
  - ・ 安全な国産牛肉の需要は堅調で、発展の可能性や波及効果が大い
  - ・ 耕畜連携の要として本県農業を支える品目
  - ・ 特産食材として観光や食品産業の目玉となる
- 方向性
  - ・ 小規模零細な肉用牛の生産構造を改革し、養豚のような生産構造を構築する
  - ① 大規模・法人化(継続性、安定性)
  - ② 加工・販売の促進(雇用創出、他産業創出)

### 地域の重点産業へ育成

## 1 肥育経営の生産基盤拡大

- 肥育牛の飼養頭数の増加
  - ・ 1,000頭の増加
- 肥育牛出荷頭数の増加
  - ・ 600頭の増加
- 畜産産出額の増加
  - ・ 600頭 × 80万円 = 4.8億円

## 4 繁殖経営の生産基盤拡大と家畜市場の活性化

- 肥育素牛の需要拡大により県内の1,000戸を超える繁殖経営の規模拡大が促進
- 上場頭数の増加による家畜市場の活性化

## 2 肉用牛生産構造の改革

- 地域が一丸となった担い手育成と畜産を核とした地域活性化のモデルケース
- 大規模法人・6次産業化のモデル経営として、県内肉用牛経営の生産構造の改革を促進

## 5 耕種農業の活性化

- 稲WCSや飼料用米の増産による水田の有効活用
- 良質な堆肥の活用による地域循環型農業の振興

## 3 県産牛のブランド化の推進

- 大規模な担い手の育成による県産牛の出荷ロットの拡大
- 観光地での生産者直営レストラン誕生による県産牛の県内外へのPR

## 6 観光・食品産業の振興や新たな雇用の創出

- 地場産牛肉の特産品化や目玉食材としての活用による観光・食品産業の振興
- 肉用牛生産のほか、レストラン事業、食品産業、観光産業での雇用創出

## 取組の効果

大規模肉用牛経営  
600頭 → 1,000頭  
(将来構想)  
レストラン  
特産品



### 3 戦略作物生産拡大緊急基盤整備事業（拡充） 【農林漁業振興臨時対策基金事業】

農地整備課

戦略作物の品質や収量の大幅な向上を図り、高収益農業の実現を図るため、モミガラ補助暗渠等による水田の排水強化対策、中山間地域における小規模基盤整備、老朽化した農業水利施設の長寿命化対策を緊急的に実施する。

#### 1 事業内容

国庫補助事業「農業体質強化基盤整備促進事業」の平成24年度予備費の割当内示に伴い、必要額について補正を行う。

##### (1) 戦略作物高品質・高収量実現排水強化支援事業

ア モミガラ補助暗渠単独施工型（県単事業）（当初予算分）

イ 水田排水総合強化型（国庫補助事業）

336ha（当初予算分）、45ha（12月補正分）

##### (2) 中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業（当初予算分）

##### (3) 農業水利施設長寿命化対策支援事業

ア 基幹施設強化型（国庫補助事業）

1地区（当初予算分）、24地区（12月補正分）

イ 小規模施設強化型（国庫補助事業）

4地区（当初予算分）、13地区（12月補正分）

#### 2 事業主体

(1)ア : 農業者、農業生産法人等

(1)イ、(3)ア : 県

(2) : 県、地域協議会等

(3)イ : 市町村、土地改良区等

#### 3 予算額

1,987,960千円	<table border="0"> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>1,159,565千円</td> </tr> <tr> <td>繰入金 (農林漁業振興臨時対策基金)</td> <td>134,091千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>319,204千円</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>375,100千円</td> </tr> </table>	国庫補助金	1,159,565千円	繰入金 (農林漁業振興臨時対策基金)	134,091千円	諸収入	319,204千円	県債	375,100千円		
国庫補助金		1,159,565千円									
繰入金 (農林漁業振興臨時対策基金)	134,091千円										
諸収入	319,204千円										
県債	375,100千円										
<table border="0"> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,473,625千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>92,700千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>416,025千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>1,810千円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>3,800千円</td> </tr> </table>	工事請負費	1,473,625千円	委託料	92,700千円	負担金補助及び交付金	416,025千円	使用料及び賃借料	1,810千円	補償、補填及び賠償金	3,800千円	
	工事請負費	1,473,625千円									
	委託料	92,700千円									
	負担金補助及び交付金	416,025千円									
	使用料及び賃借料	1,810千円									
補償、補填及び賠償金	3,800千円										

#### 4 事業年度

平成23～25年度

## 4 農林水産部所管の公の施設の指定管理者の指定について

農林政策課

### 1 指定管理者の指定（議案第236号）

農林水産部の所管する秋田県農業研修センター（本館を除く）については、平成20年度から指定管理者制度を導入し、施設の運営を委託してきたが、平成24年度末で指定期間満了となるため、新たな指定管理者を指定する。

### 2 指定の期間

平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）

### 3 指定管理者の申請状況

施設名	所管課	申請件数	申請者	説明会参加数
秋田県農業研修センター （本館を除く）	農林政策課	1	むつみ造園土木(株)	1

### 4 指定管理者（候補者）の選定

#### (1) 選定委員会の設置

部内委員2名、外部委員2名、税理士1名 計5名（別頁「委員名簿」のとおり）

#### (2) 選定委員会の開催

平成24年10月5日（金）

#### (3) 選定経過

申請団体から提出された事業計画書等により、選定委員会で総合的な観点から検討を行った。

### 5 選定結果

施設名	指定管理者(候補者)	指定管理者に行わせる管理の業務
秋田県農業研修センター （本館を除く）	むつみ造園土木(株)	・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・植物の栽培及び管理に関する業務

※ 選定結果については、別紙「指定管理者(候補者)の選定の方法及び結果について」のとおり

### 6 今後のスケジュール（予定）

- 平成24年12月 指定管理者の指定の議決(第2回定例会12月議会)
- 平成25年 1月上旬 指定管理者の指定の告示(秋田県公報)
- 平成25年 2月～3月上旬 指定管理者との協定書の締結
- 平成25年 4月1日～ 指定管理者による管理運営の開始

農林水産部指定管理者(候補者)選定委員会 委員名簿

区 分	職 名	氏 名	備 考
委員長	秋田県農林水産部長	藤 井 英 雄	
委 員	秋田県農林水産部次長	牧 野 一 彦	
委 員	税理士	福 井 治	有識者
委 員	(社福)秋田県社会福祉協議会事務局長	佐々木 繁	福祉関係団体
委 員		増 永 一 葉	利用者

## 秋田県農業研修センター生態系公園等に係る指定管理者（候補者）の選定の方法及び結果について

### ● 選定の方法

1 申請団体から提出された事業計画書等により、選定基準に沿って設定した審査項目ごとに各委員が評価（評点付け）を行った。

（評点）

- 5点：特に優れている
- 4点：優れている
- 3点：やや優れている
- 2点：やや劣っている
- 1点：劣っている

2 全委員の評点を合計し、選定基準のウエイトをもとに評点の合計を100点換算した。（満点を100点として再計算）  
（申請団体の評点については、下記の「評点表」を参照）

3 2をもとに委員間で総合的観点から議論・検討を行い、適当と認められる団体を指定管理者の候補者として選定した。  
（議論・検討の概要については、下記の「総合評価（選定結果）」を参照）

### ○ 評点表

	1 県民の平等利用の確保 (確保されなければ失格)	2 施設の設置目的の 効果的達成 (満点：30点)	3 効率的な管理 (満点：30点)	4 適正かつ確実な管理 を行う能力 (満点：30点)	5 その他必要な事項 (満点：10点)	合計 (満点：100点)
むつみ造園土木(株)	○	23.0	21.0	22.7	7.8	74.5

### ■ 総合評価（選定結果）

- むつみ造園土木(株)は、全ての審査項目においてバランスよく評点を獲得しており、換算後の評点の合計も74.5点となっている。
- むつみ造園土木(株)は、施設内の企画展示や園芸体験研修等を行うための企画力に優れているとともに、利用者に対するサービス向上の取組が具体的である。
- これまでの指定期間においても、県民の憩いの場、学習の場として機能しており、一定数の利用者を確保している。
- ◎ こうしたことを踏まえ、むつみ造園土木(株)を指定管理者の候補者として選定することに決定した。